



こんなことやっています。こんなところでごんばっています。

地域おこし協力隊通信

子どもたちが瀬戸産業を見学！

地域おこし協力隊の山田周さんが企画する『もっと長島プロジェクト』が9月19日に行われました。第2回目となった今回は「長島町で検査された電子部品が世界中で広がっているってホント!?!」というテーマで、町内の小学生と保護者を対象に株式会社瀬戸産業長島工場（本町）を見学しました。



地域おこし協力隊
山田 周

主に通信機器に使われている電子部品の検査などを行う同工場の従業員の作業の様子や検査装置の様子を見学し、参加した児童らは熱心に見聞きしていました。また、小さな電子部品を顕微鏡を使って検査したり、ピンセットでケースに入れたりする作業などを体験し、検査の難しさを学びました。

工場案内に協力された取締役専務の本田善博さんは「長島町にも同社のような仕事があることを知ってもらいたい」と、工場見学で子どもたちに長島町のさらなる魅力を伝えられたことに手応えを感じていました。



新しい特産品などをデザイン

協力隊の江副佑輔さんが町の新しい特産品を目指し、島みかんサイダーを使ったクリームソーダ『サンフロート』を町内の事業者と開発しました。

商品提供をレガレ・ワキタ（蔵之元）、レシピは民宿えびす屋（蔵之元）、ガラスの提案に福徳金物店（山中）が協力し、今後は町内の飲食店にメニューを広げたいとのこと。

また、店内をリニューアルした山路食堂（山寺）では、スタンプカードを制作。役場では、環境省が推進する宴会時の食べ残し削減キャンペーン『2010運動』のポスターを介護環境課と制作し、同ポスターは、町内の飲食店に掲示されます。

島みかんサイダーを使った
クリームソーダ「サンフロート」



「2010運動」の
ポスター

山路食堂の
スタンプカード

